

CASBEE神戸ver.3
三菱倉庫神戸支店西神配送センター2期建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.31			3.0
1 音環境						3.4	0.15			3.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0		
1.2 遮音						4.2	0.40			
1 開口部遮音性能		T-2				5.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0		
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境						2.1	0.35			2.1
2.1 室温制御						3.2	0.50			
1 室温						3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能		窓ガラスU=2.6、窓SC=0.43、外壁U=1.93				4.0	0.25	3.0		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.37			
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式						1.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						3.5	0.25			3.5
3.1 昼光利用						4.1	0.30			
1 昼光率		昼光率: 3.35%				5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口							-	3.0		
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策						3.0	0.30			
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0		
3.3 照度		事務室700lx確保している				4.0	0.15	3.0		
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0		
4 空気質環境						3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を70%以上を使用している				4.0	1.00	3.0		
4.2 換気						3.0	0.30			
1 換気量						3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理						4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御		喫煙室を確保している				5.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.8
1 機能性						3.8	0.40			3.8
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応		OAフロア等によりレイアウト変更に対応しコンセント容量が50VA/m ²				5.0	0.33	3.0		
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たして				4.0	0.34			
1.2 心理性・快適性						3.9	0.30			
1 広さ感・景観		天井高2.7m以上確保している				4.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースの確保+自動販売機の設置				5.0	0.33			
3 内装計画						3.0	0.33			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		トイレ床面タイル、壁面けいカル板を採用している				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.4	0.30			3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.4	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		免震構造				5.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		金属断熱サンドイッチパネルt75を採用している(40年)				5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な配管2種類以上にBを以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.0	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			4.3	0.30	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	3.9m以上確保している	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.04	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	
4500N/m ² 以上確保している							
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材、仕上材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく通信配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
景観への配慮を行っている							
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.02	-	-	5.0
BPI _m =0.64							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			3.7	0.61	-	-	3.7
[BEI][BEI _m] = 0.73							
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
節水コマ、省水型機器を採用している							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
-							
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.22	-	-	
ビニル系床材、ボード(ロックウール化粧吸音板)、磁器質タイル							
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.22	-	-	
OAフロアの使用、RCとLGSが容易に分別できる							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30	-	-	
ビニル床タイル・シート接着剤、壁紙接着剤、シーリング材							
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=50未満	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
排出率87%							
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースを確保している	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	